



令和 5 年度 事業計画書



練馬区立 上石神井第二保育園

運営受託 社会福祉法人 敬愛会



コロナ禍からの早期脱出を!!

三年余りの新型コロナウイルスとの戦いは終息に向かっていっているように見えます。しかし、新型コロナウイルスは変異しながら人間への攻撃を止めることはないようにも思われます。政府は「新型コロナウイルス感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」と名称を変更し防疫体制を変えましたが、私たちは高齢者や幼児の生活を守る立場の者として、一挙に新型コロナウイルスに対する防御態勢を緩和することは出来ません。地域の感染状況を見ながら、園児の皆様の活動や施設の行事等を慎重に再開していきたいと考えています。保護者の皆様をはじめ地域の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

わが国の人口減少問題が、2000年代に入り深刻な様相を呈しています。要因は様々あると思われませんが、国を挙げて少子化対策に取り組み、人口減少に歯止めを掛けなければなりません。時代のニーズに合った子育て支援に応えられる施設運営が求められています。

「地域のニーズは地域で解決」を目標に、課題解決型施設運営を目指して参ります。多くの皆様のご支援ご協力により私たちの活動は維持・継続ができています。

変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。

令和5年4月1日
社会福祉法人敬愛会
理事長 青木澄雄

練馬区立上石神井第二保育園 運營業務委託事業 事業計画

明確な情報発信が保育園への信頼に繋がる

3年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症の位置づけも変わり、保育園での感染対策も大分緩和される方向にあります。保育に従事する上での厳しい感染対策や求められる意識改革により状況に合わせて柔軟に工夫を凝らし子ども達の最善を探る習慣や組織力が身に付いたことは大きな収穫と言えます。

昨今保育園での不適切な保育が報道されています。保育施設に対する厳しい目が向けられている事は事実ですが、上石神井第二保育園では、子ども一人ひとりの心に寄り添った丁寧な保育が定着し、職員間での方向性も統一されています。今後も保護者の方や地域の方に向けた丁寧な情報発信が保育園への信頼を得る事に繋がります。常に温かいまなざしで子どもの成長を支え、職員同士の保育の振り返りを丁寧に行なう事、共通の理解や意識の違いを埋める努力が保育の質に繋がると考えます。

職員とのコミュニケーションをより密に図り、余裕を持って関わる環境（職員配置）組織的に関わる環境（職員を孤立させない）学びの環境（研修制度）を充実させてまいります。又、園外保育中の不審者対応、園児置き去り防止などリスクマネジメントの強化も図ります。

今年度も法人のモットーである「品位品格を持ち利用者の最善を考え、仲間とともにそして自分自身のために」を真に理解し敬愛会の保育の実現に努めます。皆様のご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年3月吉日
上石神井第二保育園
園長 岩下規子



練馬区立上石神井第二保育園受託事業

1. 施設の概要

(1) 施設名・所在地

練馬区立上石神井第二保育園
東京都練馬区上石神井1-5-3

(2) 施設の概要

延床面積 829㎡
構造 鉄筋コンクリート 2階建ての1・2階部分
(児童館・学童クラブ併設)
開園年月 昭和42年5月
法人受託開始日 平成27年4月



2. 職員関連

(1) 職員の配置

令和5年4月1日現在

職 種	国・都・区・定数	備考
園 長	1	
主 任	1	
保 育 士	20	非常勤保育士2名含む
看 護 師	1	
栄 養 士	2	
調 理 師	3	
用 務	1	
事 務 主 任	1	
時 間 職 員	17	早朝・日中・夕方延長・用務・調理補助
講 師	3	リズム講師・体育講師・美術指導
嘱 託 医 師	2	園医・歯科医
合 計	52	



(2) 職員構成

【雇用内訳】

正職員	非常勤職員	パート職員
27名	2名	18名

【年代別内訳】(正職員、非常勤職員)

20代	30代	40代	50代
14名	2名	6名	7名

【当事業所在職年数内訳】(正職員、非常勤職員)

3年以上	1年以上 3年未満	1年未満
9名	8名	12名

【他施設での保育経験年数】(正職員、非常勤職員)

1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
3名	3名	9名	2名	4名	1名

【パート職員職種内訳】

職種	有資格	無資格
朝保育補助	3名	3名
日中保育補助	0名	0名
夕保育補助	2名	5名
休日保育補助	(3名)	(3名)
調理補助	-	3名
用務補助	-	2名
計	5名(兼務3名)	8名(兼務3名)

【職員在住地域内訳】

	正職員・非常勤	パート職員
練馬区内	6名	12名
練馬区外	23名	4名

【パート職員年代別内訳】

20代	30代	40代	50代	60代以上
1名	0名	1名	2名	12名



(3) 職員の業務

グループウェアの活用により情報共有を効果的に行い、保育の質の向上に取り組む。

情報セキュリティ

(定期的に研修を実施し職員 1 人 1 人が意識を高め、適切な情報管理をおこなう。)

情報発信

(保護者への情報は IT ツールを活用し、コミュニケーションを深める)

◆ 今年度特に力を入れる点

1. 保育の基本の統一化を図り園児の経験に格差を生まない

保育基本マニュアルの作成

職員による対応の相違を防ぎ保育スキルを一定に保つ

一人ひとりの心に寄り添った丁寧な保育の実現

2. 法人の求める人材育成に努めます

社会人としてのスキルを身に付け業務効率を図る

職員自身が自己研鑽を積み主体的に責務を果たす

グループウェアを活用し明確な発信力を養う

3. 保育の面白さや遣り甲斐を実感し職員の定着を図る

自身の将来像をイメージし経験値を広げる取り組みに携わる

関心のあるプロジェクト活動に参加し楽しみながら子どもの心を豊かに育む

園内研修 (交換実習を含む) 内部研修、外部研修で得た知識を実践する。

(4) 職員の健康管理

区分	対象者	年回数	施時期	延人数	支出額
健康診断	職員 (35 歳未満)	1 回	5月~3月	18 人	180,000 円
生活習慣病予防健診	職員 (35 歳以上)	1 回	5月~3月	13 人	156,000 円
インフルエンザ予防接種	正職員他	1 回	1 1 月	31 人	117,800 円
細菌検査	全職員他	1 2 回	4月~3月	576 人	0 円
O-157検査	調理職員他	1 2 回	4月~3月	132 人	0 円



(5) 研修計画

- ・園外研修・・・全職員が年1回以上参加し自己研鑽に励む。
食育研修、救命講習、オンライン研修
- ・内部研修・・・リスクマネジメント、情報セキュリティ、法人基礎研修、乳児保育研修、
OA研修、人権研修、緊急時対応訓練、法人内交換実習
- ・練馬区主催研修・・・乳児保育研修、障がい児保育研修
実践交流会(障がい児担当者の意見交換会)等



【練馬区保育所等職員研修予定】

№	講義日	時刻	時間	研修名	講師	会場
1	5月	18:30~20:30	2	障害のある子 気になる子への対応	チャイルドフット・ラボ 専属指導員 黒葛真理子	ZOOM オンライン
2	7月	14:00~17:00	3	これからの保育所の 役割と環境	保育環境アドバイザー 井上さく子	練馬区立区民 産業プラザ ココネリホール
3	8月	14:00~17:00	3	発達障害の理解と支援	明星大学教育学部 教育学科 星山麻木	練馬区立区民 産業プラザ ココネリホール
4	10月	14:00~17:00	3	今日から作れる 保育ドキュメンテーション	玉川大学教育学部 教授 王豆生田 啓友	練馬区立区民 産業プラザ ココネリホール
5	11月	14:00~16:00	2	子どもの学びを支える 環境づくり	東洋大学 ライフ デザイン学科 教授 高山 静子	ZOOM オンライン

(6) 職員福利厚生

令和5年4月1日現在

月	内容	人員	見込額
4月~3月	細菌検査	576人	0円
10月~3月	O-157検査	132人	0円
5月~10月	健康診断(正職員・フルタイム非常勤)	31人	330,000円
5月	貸与被服(エプロン袖なし)	48人	177,942円



3. 児童処遇関連

(1) 園児のクラス編成（令和5年4月1日現在）

年齢	クラス名	人数
0才児	つくし組	5名
1才児	たんぽぽ組	20名
2才児	すみれ組	20名
3才児	もも組	22名
4才児	きく組	24名
5才児	さくら組	24名
計		115名



(2) 児童の健康管理

区分	対象者	年回数	実施時期	延人数
健康診断	全園児	2回	春秋	230人
0才児健診	0才児	12回	毎月	60人
歯科検診	全園児	2回	春冬	230人



(3) 給食

ア. 給食時の指導方針

年齢区分	指導方針
0才児	食えることへの興味・関心を持てるように、楽しい雰囲気作りを心がける。
1才児	苦手なものでも、少しずつ食べようとする意欲を持たせる
2才児	楽しい雰囲気の中でいろいろな種類の食べ物を味わい、興味関心を持たせる。
3才児	何でも残さず食べることが、体に大切であることを知らせ、無理なく進んで食べようとする気持ちを持たせる
4才児	嫌いな食べ物でも、少しずつ食べることによって、体が大きく成長することを知らせる
5才児	盛りつけられた分は、残さず食べることによって丈夫な体を作ることを知らせる



イ. 給食の内容

- 毎月離乳食会議を開催し、月齢にこだわらず一人ひとりの状態に合わせた、きめ細かい配慮をしています。
- 栄養素の調和配分がとれた献立にしています。
- 献立は練馬区の共通献立に基づき調理し、アレルギー児には代替食を提供しています。
- 乳児離乳食用と幼児用の二種類の献立表の他に、食物アレルギー用の献立も作成しています。アレルギー対象園児の保護者にも個別の献立をお渡ししています。
- 月に1回、栄養士とアレルギー対象園児のいるクラスの担任がアレルギー会議をしています。
- 適正な費用、調理法の改善向上に努めています。
- アレルギー性疾患の子どもには、医師の指示書（年一回以上提出）のもと個別に食事内容を十分に配慮し、調理法の工夫をしています。
- 在庫確認を行い、仕入れの無駄を防いでいます。
- 食材納品は、当日鮮度に確認しています。（ただし休日の分は前日納品時に確認）
- 毎月給食会議を行い、喫食状況等について報告を受けています。状況により改善向上に努めています。



ウ. 衛生管理の状況

練馬区の保育園給食の衛生管理マニュアルに基づき、衛生管理に努めています。

- ① 調理従事者の健康管理、調理作業時の服装など
- ② 食品の選定と納品後の衛生管理
- ③ 使用水の衛生管理
- ④ 食品の選定と納品後の衛生管理
- ⑤ 調理作業中の衛生管理
- ⑥ 盛り付け時の衛生管理
- ⑦ 調理器具・容器などの衛生管理
- ⑧ 哺乳瓶および調乳器具類の取り扱い
- ⑨ 調理台の衛生管理
- ⑩ 冷蔵庫・冷凍庫の衛生管理
- ⑪ 食事及びおやつ時の衛生管理
- ⑫ 日常給食以外の食事（収穫物の取り扱い、調理保育の衛生管理）
- ⑬ 調理室の衛生管理
- ⑭ 調乳室及び配膳室の衛生管理



- ⑮ 食中毒事故（疑い）発生時の連絡体制
- ⑯ 衛生点検表（毎日必ず記入する）

(4) 食育計画

1. 練馬区立保育園食育到達目標

「食べることが楽しいと思える子どもに」

2. 園食育目標

「楽しく美味しく食事ができる子ども」



3. 具体的な目標

- ・会食で食事を楽しむ。
- ・楽しみながら、少しずつ、食事のマナーも体得していく。
- ・食物を栽培し、食物や生命の大切さにふれる。
- ・調理保育を通じて、食を豊かにする。

4. クラス目標

- 0才 心地よい雰囲気の中で、自分で食べようとする意欲を育てる。
- 1才 楽しい雰囲気、様々な食事を食べてみようとする。
- 2才 食事のマナー（食器に手を添える、姿勢等）を知らせながら、楽しく食べる。
- 3才 色々な食べ物に興味を持ち、食品の名前を知る。
食具の持ち方、食器に手を添える等、食事のマナーを知らせる。
- 4才 十分に身体を動かし「お腹が空いた」ことを感じて食事を楽しむ。
時間の中で食べる。
- 5才 栽培活動、調理保育を通じて食材に関心を持ち、身体への栄養について興味を持って食べる。食事のマナーを知っていく。

5. クラス活動

クラス	栽培活動	食育活動
3才	なす、ピーマン	とうもろこしの皮剥き、食材や食事マナーのお話（七夕、七草粥、節分）
4才	トマト、枝豆	そら豆のさや剥き、とうもろこしの皮剥き、食材や食事マナーのお話（七夕、七草粥、節分）
5才	じゃがいも、すいか、きゅうり、練馬大根	グリーンピース、そら豆のさや剥き、とうもろこしの皮剥き、食材や食事マナーのお話（七夕、七草粥、節分）



6. 行事食等



- ・子どもの日祝い会
- ・七夕会食
- ・キラキラ会
- ・七草がゆ
- ・節分
- ・ひなまつり
- ・お別れ会食
- ・お楽しみ給食



*保育と連携をとり行事の事前指導（食育）を行なっている。

(5) 保育

ア. 保育の理念

「子ども一人ひとりを大切に健やかな育ちを支えます」

「保護者の方の思いを受けとめて、子育てをサポートします」

「保護者の方や地域の方と力を合わせて子どもの最善の幸福のために努めます」

イ. 保育の方針

「なかまと共に育ちあい、元気に遊べる子ども」

ウ. 練馬区保育目標

(1) 健康な子ども

(2) 意欲的で、心豊かな子ども

*練馬区では一人一人の子どもを大切に、人との関わりの中で、上記のような育成を目指しています。

エ. 上石神井第二保育園の保育目標

(1) 心豊かな子ども

(2) 体が元気な子ども

(3) お友だちと仲良くあそべる子ども



(6) 年間行事

別紙参照

(7) 安全管理

ア. 設備、運営について

- ・リスクマネジメントプロジェクトチームがより実践に即した訓練の計画。
基本マニュアルを作成し万全の対策を講じる（感染症予防、事故予防、防災、防犯、情報セキュリティ）
内部研修において共通認識を持つ。



- ・不審者訓練（園庭及び園外活動時対応）、避難訓練の実施
- ・地震、火災を想定した訓練（停電時、交通機関が使用不可の場合、給食提供が不可の場合）
- ・保育課主催の普通救命講習を受ける。
- ・園内において、定期的に自主訓練を行う。
- ・設備の安全管理(自主点検)に努め、未然に事故を防ぐ。
- ・安全に関するマニュアルに基づき、運営の円滑化を図る。



4. 施設の整備計画

（１）補修工事予定

建物については練馬区の管理につき、補修は練馬区建築課に依頼する。

（２）固定資産物品・備品購入計画

保育環境は現状を引き継ぎ、摩耗状況を踏まえた上で、検討して購入を計画する。

5. 災害対策

（１）避難訓練の予定

- ・毎月一回火災発生、地震災害による避難訓練を実施する。
- ・地震を想定した訓練（停電時、交通機関が使用不可の場合、給食提供が不可の場合）
- ・年一回は大規模災害発生を想定し、保護者への引き渡し訓練を実施する。
- ・年一回は消防署員の元、通報訓練、消火訓練の指導を受ける。
- ・全職員の自主消火訓練は毎月実施し、新入職の職員にはより具体的に消火器の扱いを指導する。
- ・保育課主催の普通救命講習（年3回）を受ける。
- ・東京直下型地震が想定されている事を充分踏まえ区内の公立園が一斉に行う。一斉防災訓練に参加する。
- ・保護者の方へ情報伝達訓練を実施する。（保育園連絡メール、web 情報、安否確認電話など）

（２）防災設備等の保守点検

消防署査察 数年に1回（時期未定）
 点検 区が指定した委託業者が年3回行い報告を受ける。
 全体点検（機能、外観検査、年4回）



(3) 備蓄品購入計画

*防災備蓄食品

令和5年4月1日現在

食品名	数	備考
保存水	23箱	一本2ℓ×138本
アルファ化米(わかめ)	3箱	1箱25食×2
アルファ化米(白米)	3箱	1箱25食×2
アルファ化米(白粥)	12袋	1袋40g×12
クラッカーの缶詰	62缶	1缶75g×62
アレルギー用菓子	5箱	48g×4箱(一箱8枚)
LLヒートレスカレー	37袋	1袋200g×37

6. 保護者との関係

(1) 園に対する理解と協力の状況

- ・新入園児には保育園のしおり(食品チェック表を含む)を配布し、保育園の必要な情報をお伝えし、ご理解とご協力を頂けるよう努めている。
- ・年12回園だよりを通して保育園の方針や取り組み、子ども達の成長の姿をお伝えし、保育園への理解が深まるよう努めている。
- ・保育園の取り組みの根拠を必ず説明する。
- ・毎月1回ほけんだより、えいようだよりを通して、感染症予防、食育活動の取り組みを配信し子育ての参考にさせていただく。
- ・毎月1回クラスだよりを通して活動の様子や子どもたちの様子を伝え、保護者の方と信頼関係が深まるように努めている。
- ・練馬区の保育園ホームページに最新情報を載せて、保育園の情報を公開している。
- ・災害時やコロナ関連のお知らせ配信や保育園連絡メールを活用して、現況を伝え迅速な情報提供に努める。
- ・保育参観・保育参加等を行い、園児と共に園生活の体験をして頂き、理解を深める。
- ・年に1回個人面談を行い、子どもの家庭での様子をお聞きし、保育園での様子も伝え、相互に協力して子どもの健やかな育ちをサポートしていく。
- ・年に2回保護者会を実施し、子どもたちの成長の様子や保育園の状況を伝える。
- ・運営委員会では、練馬区や園に対し、日頃感じているご意見やご要望を伺い、現状の課題を認識し改善を図る。



7. 地域社会との関係

(1) 園内子育て支援



年9回、地域の子育て家庭の方に遊びに来ていただきます。制作や行事などに参加し、子育ての参考にして頂いています。また、「ふれあい給食」も実施し、希望者には1日3組までお給食の提供をしています。

昼食料金（大人）・・・250円、（乳児）・・・170円

令和5年度の子育て支援の計画（けやき広場）

4月	開催なし
5月25日（木）	いっしょにあそぼう
6月22日（木）	七夕飾りを作ろう
7月 4日（火）	水あそびを楽しもう
8月	開催なし
9月26日（火）	ふれあい遊びに参加しよう
10月12日（火）	ミニ運動会に参加しよう
11月21日（火）	観劇を楽しもう
12月12日（火）	クリスマスグッズを作ろう
1月 9日（火）	新年子ども会に参加しよう
2月16日（月）	お雛様を作ろう
3月	開催なし

(2) 地域小中学校との交流

- ・就学に向け年2回、上石神井小学校を訪問し、在校生と一緒に伝承遊びを楽しんだり、校舎の案内をしてもらうなどの交流をもちます。
- ・夏休み期間中“保育園で遊ぼう会”に卒園生（1年生）をお招きして、園児と一緒に玩具を作ったりゲームをしたり“ふれあい給食”を楽しみます。
- ・近隣の中学生が授業の一貫として体験学習のために来園し、保育士の仕事を学び園児との交流を楽しみます。
- ・夏休み期間中、近隣の中学生がボランティアに来園し、園児との交流を楽しみます。



令和5年度年間行事予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月		
1	土	1	月	1	木	1	土	1	火	1	金	美術指導④⑤
2	日	2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	
3	月	3	水	3	土	3	月	3	木	3	日	
4	火	4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	
5	水	5	金	5	月	5	水	5	土	5	火	
6	木	6	土	6	火	6	木	6	日	6	水	体育指導
7	金	7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	
8	土	8	火	8	木	8	土	8	火	8	金	
9	日	9	水	9	金	9	日	9	水	9	土	一斉防災訓練
10	月	10	火	10	土	10	月	10	木	10	日	
11	火	11	木	11	日	11	火	11	金	11	月	
12	水	12	金	12	月	12	水	12	土	12	火	
13	木	13	土	13	火	13	木	13	日	13	水	
14	金	14	日	14	水	14	金	14	月	14	木	
15	土	15	月	15	木	15	土	15	火	15	金	リズム指導
16	日	16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	
17	月	17	水	17	土	17	月	17	木	17	日	
18	火	18	木	18	日	18	火	18	金	18	月	敬老の日
19	水	19	金	19	月	19	水	19	土	19	火	
20	木	20	土	20	火	20	木	20	日	20	水	体育指導
21	金	21	日	21	水	21	金	21	月	21	木	
22	土	22	月	22	木	22	土	22	火	22	日	
23	日	23	火	23	金	23	日	23	水	23	土	秋分の日
24	月	24	水	24	土	24	月	24	木	24	日	
25	火	25	木	25	日	25	火	25	金	25	月	おはなしの会
26	水	26	金	26	月	26	水	26	土	26	火	けやき広場
27	木	27	土	27	火	27	木	27	日	27	水	体育指導
28	金	28	日	28	水	28	金	28	月	28	木	誕生会
29	土	29	月	29	木	29	土	29	火	29	金	
30	日	30	火	30	金	30	日	30	水	30	土	
		31	水	31	土	31	月	31	木			

※全園児健康診断未定

※歯科健診未定

※プール開きはプールの設置状況により日程が変更される場合があります

10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	日	1	水	1	金	1	月	1	木	1	金	美術指導④⑤
2	月	2	木	2	土	2	火	2	金	2	土	
3	火	3	土	3	日	3	水	3	土	3	日	
4	水	4	日	4	月	4	木	4	日	4	月	
5	木	5	月	5	火	5	金	5	月	5	火	こども卒園式
6	金	6	火	6	水	6	土	6	火	6	水	体育指導
7	土	7	木	7	土	7	日	7	水	7	木	避難訓練
8	日	8	金	8	月	8	火	8	木	8	土	2歳児保護者会
9	月	9	土	9	日	9	水	9	金	9	土	卒園式
10	火	10	日	10	月	10	水	10	土	10	日	
11	水	11	月	11	火	11	木	11	日	11	月	
12	木	12	火	12	水	12	金	12	月	12	火	建国記念の日
13	金	13	木	13	土	13	日	13	水	13	木	美術指導④⑤
14	土	14	金	14	月	14	火	14	水	14	土	3歳児保護者会
15	日	15	土	15	日	15	月	15	木	15	金	リズム指導
16	月	16	日	16	月	16	火	16	金	16	土	誕生会
17	火	17	月	17	火	17	水	17	土	17	日	情報伝達訓練 避難訓練
18	水	18	火	18	水	18	木	18	日	18	月	
19	木	19	水	19	木	19	金	19	月	19	火	美術指導③
20	金	20	木	20	金	20	土	20	火	20	水	4歳児保護者会
21	土	21	金	21	土	21	日	21	水	21	木	誕生会
22	日	22	土	22	日	22	月	22	木	22	金	美術指導③
23	月	23	日	23	月	23	火	23	土	23	日	天皇誕生日
24	火	24	月	24	火	24	水	24	日	24	月	新入園児面接
25	水	25	火	25	水	25	木	25	月	25	火	
26	木	26	水	26	木	26	金	26	火	26	水	お別れ散歩
27	金	27	木	27	金	27	土	27	水	27	木	クラス移動
28	土	28	金	28	土	28	日	28	木	28	金	
29	日	29	土	29	日	29	月	29	金	29	土	
30	月	30	日	30	月	30	火	30	土	30	日	
31	火	31	月	31	火	31	水	31	日	31	月	

※6月歯科健診 *11月全園児健康診断・歯科健診
 ※美術指導④⑤=4、5歳クラスが対象です
 美術指導③=3歳クラスが対象です

目標：よく食べ、よく遊び、よく眠る健康な子

- 目的：1. 新型コロナウイルス感染症及びその他の感染予防：感染源対策（感染症早期発見等）・感染経路対策（検温、手洗い、環境衛生等）・新生活様式チェックリストや職員の休憩接触状況の記入・能動免疫対策（予防接種勧奨等）
2. 病気・異常の早期発見：登園時や日常の健康観察、検温、園医回診、健康診査や身体計測の結果等より把握、対応。
3. 事故予防：環境整備、整理整頓、潜在危険、安全点検、危機管理対策、児から目を離さない、SIDS対策、安全指導
4. 健康の保持増進：戸外活動を活発に、薄着の習慣、うがい、手洗い、歯磨き等の衛生習慣を身につける。

	保健目標	配慮及び留意事項	保健行事及び指導
4	新しい環境での生活に慣れ、情緒の安定に配慮する。新年度環境衛生点検と事故予防に努める。生活リズムを整える。	①全園児の健康状態の把握に努め、既往歴と予防接種歴を整理する。②環境整備に努め、安全点検に心がけ、事故につながらないように十分注意する。③「生活リズムについて」ほけんだよりや保護者会で伝える	蟻虫卵検査 身体計測（頭囲・胸囲測定） ㊦環境整備・事故防止①（チェックリスト・SIDS）
5	戸外で元気に遊ぶ。衛生的な生活習慣を身につける。	①外気に触れ、身体的、精神的にも健康になれるよう配慮する。②紫外線対策の確認。③光化学スモッグ発生時の対応を確認。④手洗い、爪をきれいにする等、身の回りの清潔の習慣化を図る。⑤事故防止への配慮。保護者にも伝える。⑥予防接種勧奨	春の健康診断 0歳児回診：毎月1回 職員定期健康診断(5～12月) ㊦環境整備・事故防止②研修
6	虫歯予防に努める。皮膚疾患の予防と早期発見に努める。	①歯科健診結果から虫歯治療を勧める。②幼児クラス対象の歯磨き指導を行い、虫歯予防に対する意識を高める。③梅雨時の衛生管理をする。④プールの安全と清潔への配慮を確認し、プールの衛生管理をする。⑤沐浴・水遊び・プール入水時の健康チェックと安全指導⑥心肺蘇生法を体得し、緊急時の対応について職員間で確認する。	前期歯科健診 歯磨き開始指導（4歳） 幼児プール指導 ㊦救急救命処置
7 8	暑さに負けず元気に過ごす。活動と休息のバランスをとる。夏の疲れの早期回復と体力保持に努める。	①冷房使用時の注意を確認。(外気温との差5℃以内、28℃以下に下げない)。②虫刺されやとびひ、汗疹等、夏に多い皮膚疾患や眼疾患の早期発見に心がける。③午睡が十分取れるように配慮。④花火による火傷への注意を呼びかける。	事故防止（体に火が付いた場合の消し方）
9	生活リズムを整える。	①夏の疲れを早く回復させる。(保護者指導) ②気温差に合わせた衣服調節を心掛ける。薄着の勧め。③交通事故予防保護者啓発	体の話(朝の排便)
10	寒さに向かっでの体力作り。	戸外活動が多くなる為、固定遊具や運動用具を危険のないよう点検する。②インフルエンザ等予防接種を勧める。③4・5歳児に目の大切さを話す。保護者にも目の大切さについてほけんだより等で知らせる。	秋の健康診断 視力測定(4.5歳児)
11	薄着に慣れる。	①冬に流行る病気の対応と予防について保護者に知らせ、下痢処理の仕方を職員シミュレーション実施。②就学児は歯、耳、眼等の疾患ある場合治療を勧め、就学時健診の結果を把握する。	後期歯科健診 ㊦嘔吐物の処理
12	外気に積極的に触れる。	①暖房使用時の室内の温度、湿度、換気への配慮。(18～20℃、湿度50～60%) ②家庭での火傷の注意を呼びかける。	幼児・手洗い指導 咳エチケット指導 ㊦感染予防
1	寒さに負けず元気に過ごす。	①インフルエンザや嘔吐下痢等感染性胃腸炎発生時の対応を職員で確認し、ほけんだよりで知らせる。うがい、手洗いの励行。	2歳児手洗いうがい指導
2	外気に触れ、身体を動かす。	①寒さで運動量が少ないので暖かい日は積極的に戸外に出て遊ぶように勧める。②動きが鈍くなるので、事故には充分注意する。	
3	成長の喜びを知る。	①身長、体重の増加等を調べ、全園児の健康状態を把握する。 ②新入園児の健康状態を把握する。	新入園児健康診断 体のはなし（命の大切さ）

令和5年度避難訓練計画

No.13 練馬区立上石神井第二保育園

【目標】 実際の災害時に安全に避難できるようにすること
様々な災害を想定した訓練を行い、対応力を身につける。

【ねらい】 安全を最優先に、落ち着いて園児を安全な場所に避難させる。
冷静な判断、適切な避難指示、災害対策を確認する。
あらゆる災害を想定し、避難経路、避難場所を確認する。
災害時情報共有、連絡方法の確認をする。

【避難訓練日に確認すること】

- * 初期消火の訓練（消火器の確認） * 避難靴、避難車の確認
- * 避難袋、救急用品、防災頭巾、ヘルメット、おんぶひも、コンセント点検
- * 三角バケツの水を交換 * 懐中電灯の点灯確認
- * 保育室の安全な場所の確認 * 避難経路の確認
- * 最終避難場所の確認 * 備蓄品の確認 * トランシーバーの確認

月	日	災害種別	発生時間	発生場所	避難場所	ねらい	内容	担当
4月	13日	図上訓練 地震・火災 土曜保育中の 避難訓練	10:00 (非常ベルの 音を聞く) 10:00 (毎週土曜日)	多摩 地区	各部屋	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で園舎の避難経路を確認する ・防災頭巾をかぶり待機する。 ・土曜保育中の避難方法の確認。 ・トランシーバーで状況を把握し速やかに避難ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難経路の確認・備蓄品の確認 各部署、防災関連用具の確認。ベル、放送、トランシーバーの確認 ・非常ベル、放送に耳を傾ける。避難経路の確認 (土曜、休日保育の避難袋、避難靴、おんぶひもの確認)(備蓄品(食糧・水)の確認 ・1日 8日 14日 22日 に実施。 ・非常ベルを鳴らし火災発生を知らせる。 ・トランシーバーで各クラスの状態を共有する。 ・消防署員の指導のもと園庭に避難する。 通報訓練、消火訓練、避難経路の指導を受ける。 ・トランシーバーで状況を伝え、子ども達を安全な場所に待機、人数の点呼をし、園長に報告する。 ・避難経路、消火器の場所の確認を時間職員と確認をする。 	園長 主任 土曜保育 担当者
5月	18日	火災	9:50	北側 民家	園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員、保育士の指示に従い安全な場所に避難する。 ・2階からの避難方法の確認。 		園長 主任
6月	6日	地震	18:50	関東	延長保育室の 安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育中の避難方法、各職員の役割、避難持ち出し袋の持ち出し園児の安全確保を確認する。 		園長 主任
7月	11日	情報伝達訓練 (7/1) 地震(川の 氾濫)	9:50	関東	2階の保育室 と廊下	<ul style="list-style-type: none"> ★情報伝達訓練に参加する(保護者) ・地震の影響により川が氾濫した時の避難の方法を経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害伝言板、緊急メールの入力、利用者確認 ・室内の安全な場所に避難する。続いて石神井川が氾濫し園庭に水が入ったことを確認。 ・幼児クラスは階段を上がり2階廊下に避難する。乳児クラスは保育室で待機する。 	園長 主任
8月	3日	地震	10:00 水遊び中	関東	園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・プール、水遊び中の避難方法を知 る。 ・災害時対応の持ち出し物や準備品の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール活動中のクラスは、準備してあるTシャツを着て、安全な場所に移動、待機する。 ・焦らずに行動すること。安全な待機場所の確認、備蓄品の確認を行う。 	園長 主任

	災害種別	発生時間	発生場所	避難場所	ねらい	内容	
9月9日	一斉防災訓練 地震	14:30	関東	土曜日保育室	<ul style="list-style-type: none"> 一斉防災訓練に参加する。 ★情報伝達訓練に参加する。(保護者) 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡メールにて、保護者へ連絡をする。 防災訓練の実施。 園舎内の点検、状況確認、園長に連絡、報告。 引き取り訓練に参加する。(保護者) 	土曜日 担当職員
10月10日	地震	散歩中	散歩先	散歩先の 安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の指示に従い散歩先で安全な場所へ避難する。 速やかに園に帰園する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震を想定し、散歩先で安全な場所に避難。園に連絡し、指示を受け災害時ルートにて園まで避難する。 各クラス、散歩先と園までの道のりの危険箇所を確認しながら帰園する。 	園長 主任 各クラス
11月10日	地震	9:50	関東	第二避難場所 へまで避難 (幼児組)	<ul style="list-style-type: none"> 幼児組は第二避難場所まで避難する。 乳児組担当職員は第二避難場所へ実踏を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路の確認、園周辺の危険箇所の確認を行う。 避難車、備蓄品、持ち出し品(カート)の確認。 災害状況、駅周辺の状況の確認。交通状況の確認。 	園長 主任
12月7日	地震	8:10	関東	朝保育室の 安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> 朝保育中の避難の方法を経験する。 当番保育士と保育補助員のみ避難の方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝保育中の職員、保育補助員の動きの確認。当番保育士はトランシーバーで指示を出し、人数点呼、必要に応じ、避難する。 トランシーバーで状況を確認し、人数、安全確認を行う。(幼児組担当番担当者が全体把握、園長に報告) 	園長 主任
1月17日	地震 火災	15:40	調理室	保育室 園庭	<ul style="list-style-type: none"> 総合訓練 慌てずに避難する。 ★情報伝達訓練体験(保護者) 	<ul style="list-style-type: none"> 予告なしに訓練を実施する。 連絡系統の確認・職員の動きの確認 災害伝言ダイヤル、プロードバンド伝言板の利用確認 	園長 主任
2月15日	火災	9:50	ゴミ置き場	各保育室	<ul style="list-style-type: none"> 園舎内に煙が発生した場合を想定し、避難する方法を体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災が発生した場合の避難方法を体験する。(幼児組) 防寒対策、非常持ち出し袋、備蓄品、蓄電器の確認 	園長 主任
3月7日	地震 火災	14:30	調理室	各保育室	<ul style="list-style-type: none"> 午睡保育中の避難の方法を体験する。 待機場所の確認、災害時連絡方法の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 午睡中の災害発生対応を確認。 安全な場所に避難、人数確認をする。 トランシーバーで園舎内の状況を確認、連絡、報告 避難経路、消火器の場所の確認を時間職員と確認をする。 	園長 主任

【応援体制】
0歳児クラスへ用務2名
1歳児クラスへ調理2名
2歳児クラスへ調理2名
幼児クラスが避難後、
乳児に応援要員を出す

安全点検→園長・主任・用務
緊急持ち出し→園長・主任・看護師
【出席簿・家庭状況調査票・避難用袋】
【備蓄品・備蓄カート】

年1回の合同訓練時
懐中電灯の電池を交換
トランシーバーの確認
防災の手引きの読み合わせ

各クラス三角バケツの水の交換
訓練の評価、反省(リスクマネジメントチーム
で想定訓練の振り返り)
備蓄品、持ち出し品、蓄電器の確認
消火訓練の実施(職員向け)